

事業名：待機児童解消対策事業

子ども育成課 給付係

政策	06 子育て・教育		戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実		具体的施策	(1) 未就学期児童への支援					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

保育が必要な児童のうち、入所出来ない児童（待機児童）

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	保育を必要とする児童	人	1,541	1,683	1,863	1,963
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

保育の提供体制を確保するため、国の進める「子育て安心プラン」に参加し、施設整備を支援する。また、保育の質を維持・向上するため、保育従事者の養成等の人材確保を行うことで、「えべつ・安心子育てプラン」の具体化を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	保育施設の利用定員数	人	1,534	1,689	1,732	1,854
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

提供体制の拡充や保育の質の維持・向上を図ることにより、待機児童が解消され、安心して子どもを預け働くことができるような環境づくりと子育て支援の充実を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	待機児童数（4月1日現在）	人	96	88	151	130
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	311,938	2,280	18,149	22,754
正職員人件費 (B)		千円	11,441	5,765	5,806	5,702
総事業費 (A+B)		千円	323,379	8,045	23,955	28,456

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	子育て支援員の養成、保育従事者確保のための各種事業を行う	子育て支援員研修実施経費	742千円
		保育人材確保に係る民間事業者向け補助	21,712千円
		保育士確保策周知経費等	300千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：子育て世代包括支援事業

健康推進室参事（子育て世代包括支援）

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策	(1) 未就学期児童への支援			
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市在住の妊産婦と夫、乳幼児とその保護者

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 妊産婦と夫、乳幼児及びその保護者	人	0	6,412	6,397	6,451
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ①子育て世代包括支援センターの設置・運営
健康推進室（母子保健型）と子育て支援室（基本型）の連携により、母子手帳交付時に妊婦面接と支援プランの作成を行うほか、巡回型親子健康相談、個別ケア会議等を実施する
- ②産婦健康診査の事後支援の実施
受診票を交付し、概ね産後1か月未満の産婦を対象に、北海道と道医師会とで契約した医療機関にて産婦の健康状態の確認、産後うつ等の早期発見のための健診を実施する。
- ③産後ケア事業の実施
家族等からの援助が受けられず、心身の不調、育児不安がある産後4か月未満の産婦とその乳児を対象に委託した助産院等にて、助産師による相談や授乳・育児指導を行う。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 妊娠届出時の面接数	人	0	454	665	692
活動指標 2 巡回型親子健康相談の相談件数	人	0	246	251	480

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を受け、安心して妊娠、出産、子育てができる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 妊娠期支援プラン作成率	%	0	100	100	100
成果指標 2 子育て環境が充実していると思う市民割合	%	0	56.2	52	53

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	13,597	10,044
正職員人件費 (B)	千円	0	0	7,741	9,122
総事業費 (A+B)	千円	0	0	21,338	19,166

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・子育て世代包括支援センターの運営 ・専門職による妊娠届出時の面接・相談・支援プランの作成 ・地域あそびのひろばでの親子健康相談 ・産婦健康診査事後支援・産後ケア事業の実施 ・個別ケア会議、保健・医療・福祉の関係機関との連絡調整	・会計年度職員報酬（保健師・助産師等） 5,760千円 ・産後ケア事業委託料 2,538千円 ・子育て世代包括支援情報共有システム経費 832千円 ・母子健康手帳・妊娠届出時配布資料 537千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	令和2年度まで「子育て世代包括支援事業」に計上していた「産婦健康診査経費」を、保健センターが所管する「妊婦健康診査経費」と事業統合し「妊産婦健康診査経費」と名称変更して担当に所管替えを行った。 これにより、妊娠期からの切れ目のない支援を支える重要な健診事業の事務・業務の効率化を図り、健診結果の事後管理・支援については「子育て世代サポートえべつ」にて一体的に実施する体制とする。

事業名：小中学校学習サポート事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実			
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小中学校の児童生徒

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

放課後の学習支援や、複数の教員が役割を分担し協力し合いながら指導する「チーム・ティーチング」などの学校支援を行う学習サポート教員（教員資格者）や、書写やミシンなど、教科指導以外での学校支援を行う学校支援地域ボランティアを募集し、市内小中学校（全25校）に派遣する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 学習サポート教員の登録人数	人	37	34	34	34
活動指標 2 学校支援地域ボランティアの登録人数	人	53	82	33	33

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学校における、多様な学習機会を提供する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 学習サポート教員の年間派遣回数	回	3,452	3,252	3,467	3,470
成果指標 2 学校支援地域ボランティアの年間派遣回数	回	477	479	344	434

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	8,896	8,494	9,223	9,364
正職員人件費 (B)	千円	3,814	3,844	3,096	3,041
総事業費 (A+B)	千円	12,710	12,338	12,319	12,405

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 ・市内小中学校の全校に学習サポート教員及び学校支援地域ボランティアを派遣する。 ・一校あたり学習サポート教員を平均139回、学校支援ボランティアを平均17回派遣する。	・学習サポート教員派遣経費 6,967千円 ・コーディネーター報酬等 2,397千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：GIGAスクール構想推進事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略				
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策				
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学校児童生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	0	0	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

文部科学省が掲げる「GIGAスクール構想」を推進し、学習者用端末等をはじめとした学校ICT環境を整備する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	学習者用端末整備台数	台	0	0	7,125	7,125
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

学習者用端末等をはじめとした機器を整備することで、ICTを活用した円滑な授業実施を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	児童生徒に対する学習者用端末配備割合	%	0	0	83	82
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	27,117
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	7,602
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	34,719

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> 学習者用端末等を活用した授業を行うにあたり、専門知識を有する外部事業者による迅速なサポート体制を構築する。 円滑な授業実施のための通信料を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> 運用保守関連経費 23,020千円 ネットワーク回線経費 2,403千円 	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	「GIGAスクール構想」を推進し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現するため、学校ICT環境を構築する。

事業名：小中学校外国語教育支援事業

学校教育課 学校教育係

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実			
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内公立小・中学校の児童生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	市内公立小中学校の児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内公立小中学校に、外国語の授業を支援する外国語指導助手（10名）を派遣する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	外国語指導助手が入った授業の年間時数	時数	6,244	5,826	5,963	5,956
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

諸外国の生活や文化等について理解を深め、児童生徒のコミュニケーションに関する関心を高める。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	外国語指導助手との外国語の授業を楽しみと考える児童生徒の割合	%	87	83	86	85
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	34,128	34,521	34,953	34,953
正職員人件費 (B)		千円	6,864	6,150	6,193	6,082
総事業費 (A+B)		千円	40,992	40,671	41,146	41,035

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の授業において、複数の教員が役割を分担しながら指導する「チーム・ティーチング」などの学習支援を行う。 長期休業中（夏季及び冬季）における外国語活動の実施。 	外国語指導助手報酬 33,300千円

3年度への改善方向性(2月時点) 改善方向性選択理由（維持以外は記載）

維持	
----	--

事業名：スクールソーシャルワーカー事業 教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策	(2) 教育内容の充実			
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,668	8,582	8,583	8,674
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・課題を抱える児童生徒の置かれている環境への働きかけ
 ・学校や関係機関との連携や調整
 ・保護者や学校等に向けて、予防的な情報提供、相談支援

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	3	3	3	3
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	1,165	1,340	1,360	1,240

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒、保護者の抱える課題が解決される。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	支援ケース件数	件	136	147	160	150
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	6,751	6,750	7,459	7,529
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	3,096	3,041
総事業費 (A+B)		千円	8,276	8,287	10,555	10,570

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
3年度	スクールソーシャルワーカーが、社会福祉等の専門的な知識や経験等を活かして、課題を抱える児童生徒等に対して相談支援を行う。	スクールソーシャルワーカー報酬等 7,493千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：医療的ケア児支援事業

教育支援課 主査（教育支援）

政策	06 子育て・教育		戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実		具体的施策	(2) 教育内容の充実			
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小中学校において医療的ケアの対象となる児童生徒

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	小中学校において医療的ケアの対象となる児童生徒	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

学校に看護師を配置し、医療的ケアを必要とする児童生徒への支援を行う。また、医療的ケア運営協議会において実施に関する協議を行い、支援に当たっては安全かつ適正に医療的ケアを実施する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	学校看護師数	人	0	3	3	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

医療的ケアを必要とする児童生徒が小中学校に就学できる実施体制の充実を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	学校において医療的ケアを実施した人数	人	0	0	0	0
成果指標 2	学校における医療的ケア児の受入れ可能人数	人	0	2	2	2

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	0	407	265	894
正職員人件費 (B)		千円	0	23,830	23,997	23,566
総事業費 (A+B)		千円	0	24,237	24,262	24,460

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> 学校看護師の配置 医療的ケア運営協議会の運営 医療的ケア実施に係る施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケア運営協議会委員への謝礼：209千円 施設整備に係る工事費：497千円 	

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：放課後児童クラブ運営事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育			戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり			
取組の基本方針	01 子育て環境の充実			具体的施策	(3) 学齢期児童への支援			
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公設民営で設置している放課後児童クラブがある小学校の児童

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1	公設民営の放課後児童クラブがある小学校の児童数（5月1日）	人	449	452	452	455
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

放課後に親子共々安心できる「毎日の生活の場」を提供するため、放課後児童クラブを公設民営で設置する。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1	開設日数	日	292	281	293	293
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

留守家庭児童の放課後の生活の場を確保し、健全育成を図る。

指標名		単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1	公設民営の放課後児童クラブに登録のある児童数（5月1日）	人	64	63	64	64
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)		千円	14,863	15,762	16,146	16,404
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,548	1,520
総事業費 (A+B)		千円	16,388	17,299	17,694	17,924

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	公設民営で設置している放課後児童クラブの運営	運営業務に係る委託料	15,886千円
		光熱水費	309千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：放課後児童クラブ運営費補助金

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育		戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実		具体的施策	(3) 学齢期児童への支援					
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

民間放課後児童クラブ

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
対象指標 1 民間放課後児童クラブの数	か所	16	18	18	21
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・放課後に親子共々安心できる「毎日の生活の場」を提供するために設置運営される民間放課後児童クラブに対し運営費を補助する。
- ・「江別市民間放課後児童クラブ運営費補助金交付要綱」に基づき、利用児童数、開設日数、開設時間等に応じ、補助する。また、新規開設クラブ等に対する施設整備費を補助する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
活動指標 1 補助金額	千円	98,129	112,160	128,544	146,056
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

民間開設の放課後児童クラブが安定した経営を維持することで、留守家庭児童の放課後の生活の場を確保し、健全育成を図る。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算
成果指標 1 民間放課後児童クラブに入会した児童数	人	561	600	570	719
成果指標 2					

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	98,129	112,160	135,134	147,833
正職員人件費 (B)	千円	4,195	4,997	5,419	6,082
総事業費 (A+B)	千円	102,324	117,157	140,553	153,915

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 民間開設団体に対する運営費及び施設整備等補助金等	運営費補助金 142,056千円 施設整備等補助金 4,000千円 クラブ閉鎖に伴う引継保育委託料 1,777千円

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 児童館地域交流推進事業

子育て支援課 子ども家庭係

政策	06 子育て・教育	戦略	2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり					
取組の基本方針	01 子育て環境の充実	具体的施策	(3) 学齢期児童への支援					
開始年度	昭和46年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学生及び高校生

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算	
対象指標 1	市内小中学生及び高校生の数（5月1日）	人	13,254	13,006	13,006	13,143
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

地域の大人との指導・交流を通して、遊び、行事、イベントなどの活動を実施する。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
活動指標 1	年間開館日数	日	292	262	261	293
活動指標 2	延べイベントメニュー数	件	252	226	180	230

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

児童の協調性、自主性、可能性を引き出すことで、放課後における児童の健全育成が図られる。

指標名	単位	30年度実績	31年度実績	2年度実績見込み	3年度予算	
成果指標 1	対象者 1人当たりの年平均利用日数	日	3.1	2.4	1.9	2.4
成果指標 2	行事・イベントに参加するボランティアの人数	人	67	67	7	30

事業費の推移	単位	30年度実績	31年度実績	2年度予算	3年度予算
事業費 (A)	千円	52,206	54,533	62,564	66,190
正職員人件費 (B)	千円	3,814	4,612	5,419	5,321
総事業費 (A+B)	千円	56,020	59,145	67,983	71,511

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	児童センター（市内7か所）の開設 開設日 月曜日から土曜日（祝日を除く） 開設時間 午前9時から午後5時 （土曜日及び学校休業日） 午前11時から午後5時 （土曜日及び学校休業日以外の日）	会計年度任用職員報酬・諸手当等	53,558千円 657千円 燃料費 2,021千円 光熱水費 543千円 修繕費 5,272千円 委託料

3年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	